

令和2年度生活支援コーディネーター実践者研修・意見交換会 開催要綱

1 目的

2015年の介護保険制度改正で「生活支援体制整備事業」が設けられ、各地域で協議体と生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)による取り組みが進められてきました。この事業は地域の方々と共に協議しながら進めていくため、成果が得られるまでに時間を要しますが、全市町村で事業実施になってから3年が経過しようとしている中、その成果と課題を共有することで、今後の更なる事業進展に資することを目的として研修会を開催します。

一方で、2019年度後半からのコロナ禍によって、地域の高齢者を対象とする本事業は積極的に推進することが難しくなり、各市町の生活支援コーディネーターは、悩みを抱えながら、試行錯誤をしながら取り組みを行っています。生活支援コーディネーター同士が、その試行策や課題を分かち合うことで、withコロナ時代における事業推進のあり方を考える機会とすることも目指し、意見交換会を同時に開催します。

2 主催

三重県

社会福祉法人三重県社会福祉協議会

3 日時

令和3年3月5日(金) 13時30分～16時00分(予定) ※ 13時から入室開始

4 実施方法

Zoomを利用したオンラインでの開催

※ 各申込者でご用意したパソコン等の端末で受講ください。

※ グループを分けてワークを行いますので、基本的に一人一台で接続して参加してください。やむを得ず複数名で視聴をする場合は、発言者を一人にしてください。

5 対象

①各市町又は広域連合において生活支援コーディネーターとして活動している者

②各市町職員

6 定員

90名

7 受講料

無料

8 申込み

参加申込様式に必要事項を記入して、FAXで2月24日(水)までに事務局へ送付ください。受講に関する接続情報を送付するEメールアドレスがはっきりとわかるようにご記入ください。

また、本会ホームページのお知らせ欄に本要綱を掲載します。Googleフォームを利用してお申し込みいただけますので、ご利用ください。

Googleフォーム ⇒ <https://forms.gle/2T4mVXCDHQzUGx7d6>

9 内容

時間	内容
13:00～	受付(Zoom入室開始)
13:30～	開会・事務連絡
	研修会 1 取り組み事例の発表 2 参加者との質疑 【コーディネーター】 皇學館大学 現代日本社会学部 准教授 大井 智香子 氏 【事例発表者】 津市健康福祉部地域包括ケア推進室 松浦 洋子 氏 津市社会福祉協議会 地域福祉課 谷口 里美 氏 桑名市社会福祉協議会 地域福祉課 森山 貴行 氏
14:40	休憩(10分)
14:50～	意見交換会 ※ Zoomのブレイクアウトルームを利用 1 導入講義 2 グループでの意見交換 ①1回目テーマ ・これまでの取り組みの成果、推進上の課題、悩み ②2回目テーマ ・コロナ禍での取り組み、工夫(試行含む) ・今後に向けた展望 3 発表、共有程度 4 コメント・まとめ 【講師・コーディネーター】 皇學館大学 現代日本社会学部 准教授 大井 智香子 氏
16:00	終了予定

10 オンライン研修受講にあたっての注意事項

- (1) 今回のオンライン研修はZoomを利用します。当日までにご自身で受講環境(端末、通信等)を整備した上で受講してください。Zoomを利用されたことのない方は、「Zoomのホームページ」(<https://zoom.us/>)で使用方法や使用条件を確認し、必要なソフトをダウンロードしてください。また、Zoomミーティングのテストページ(<https://zoom.us/test>)がありますので、接続や使用方法をご確認して研修の準備をしてご参加ください。
- (2) 意見交換会では、Zoomのブレイクアウトルーム機能を利用したグループ討議を行います。ヘッドセット(マイク付き)がある方は、他の方とのやり取りがしやすくなりますので、ご利用ください。
- (3) 開催前日までに、指定のEメールアドレス宛に受講に関する接続情報を送付します。資料についても同じアドレスに送付しますので、受講日はそれをご準備ください。

11 事務局

社会福祉法人 三重県社会福祉協議会 福祉研修人材部 担当 山崎

〒514-8552 津市桜橋2丁目131

TEL 059-213-0533 FAX 059-222-0305 E-mail:shinia@miewel.or.jp